

2015年12月1日

関係各位

野村證券株式会社

「Russell/Nomura日本株インデックス」の年次銘柄入替について

Russell/Nomura Total Marketインデックスへの初めての組入れは19件に

野村證券とFTSE Russell indexesはこのたび、Russell/Nomura日本株インデックス・シリーズの定期銘柄入替を行いました。今回の入替で、全上場銘柄の時価総額(浮動株調整済み)の98%をカバーするRussell/Nomura Total Marketインデックスに、19銘柄が初めて組入れられました。構成銘柄の詳細は、野村證券金融工学研究センターのウェブサイト(<http://qr.nomura.co.jp/jp/index.html>)をご覧ください。

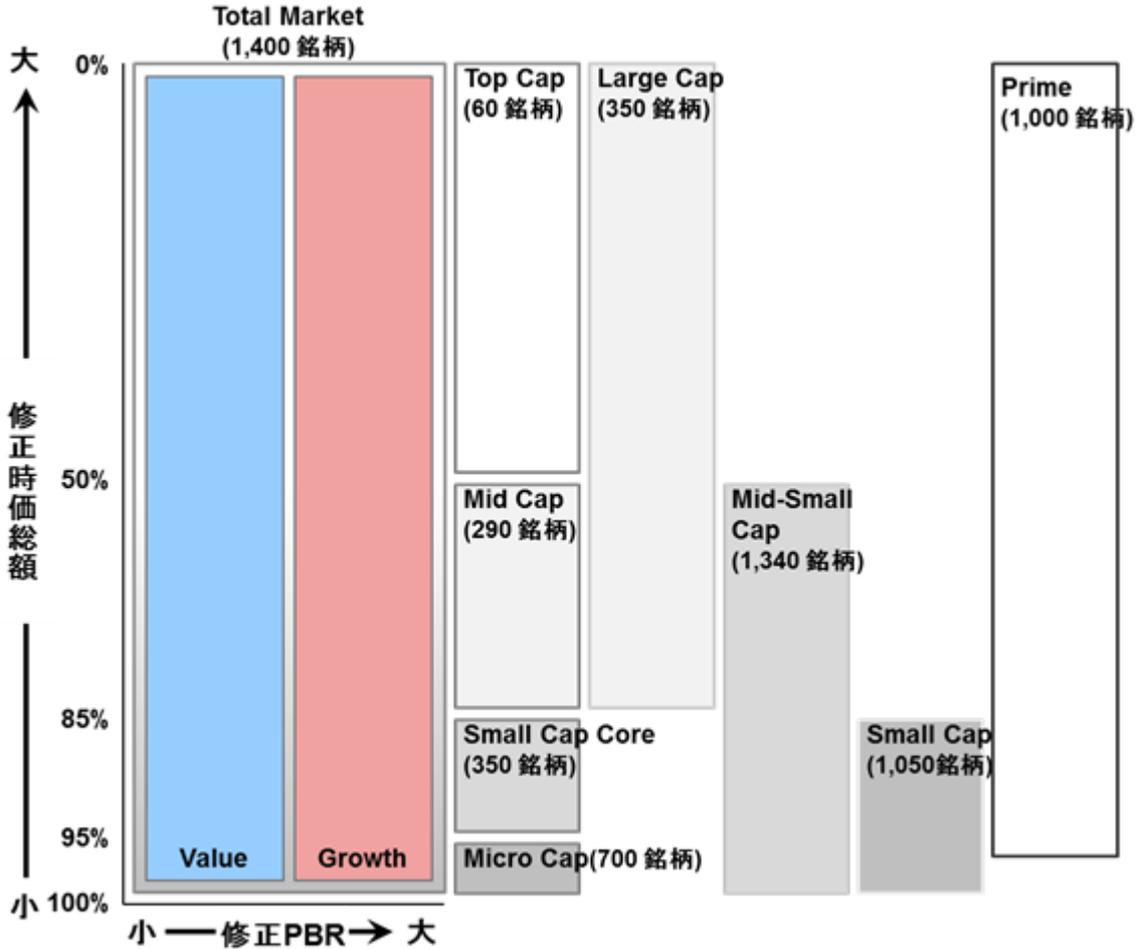
株価上昇に伴い指数全体の構成銘柄数が減少

今回の入替により、Russell/Nomura Total Marketインデックスは全体で91銘柄減少し1,400銘柄となりました。135銘柄が除外され、44銘柄が組入れられる中で19銘柄が初めての組入れとなりました。一方、同インデックスの全体の時価総額は362.2兆円から364.6兆円とわずかに増加しました(2015年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。

スタイル別インデックスに目を向けると、Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額の上位85%で構成されるLarge Capインデックスの構成銘柄は前回年次入替同様、350銘柄となった一方で、Russell/Nomura Total Marketインデックスの時価総額の下位15%で構成されるSmall Capインデックスの構成銘柄は90銘柄減少し1,050銘柄となりました(図表1)。

バリュー、グロースインデックスにつきましては、Total Valueインデックスの構成銘柄は174銘柄が除外となり80銘柄が組入れられ、Total Growthインデックスの構成銘柄は152銘柄が除外され、109銘柄が組入れられました。Total ValueインデックスとTotal Growthインデックスの時価総額回転率はそれぞれ13.1%、13.5%となり(図表2)、昨年の数値を上回るものの、計算開始以来の平均値より低い数値となりました。業種別では、「電気機器」、「機械」と「輸送用機器」、セクターでバリューへの比重の増加、「陸運業」、「情報・通信業」と「小売業」のセクターでグロースへの比重の増加が見られました(図表3)。

図表1 Russell/Nomura日本株インデックスの体系



(注) 銘柄数は2015年12月定期入替後。

図表2 2015年12月定期入替サマリー

	採用銘柄数					時価構成比率			回転率 (片側)
	入替前	入替後	差	OUT	IN	入替前	入替後	差	
Total	1491	1400	-91	135	44	100.00%	100.00%	-	1.6%
Value	1094	1000	-94	174	80	50.34%	48.42%	-1.92%	13.1%
Growth	803	760	-43	152	109	49.66%	51.58%	1.92%	13.5%
Large	351	350	-1	25	24	86.03%	86.20%	0.17%	2.6%
Value	225	219	-6	37	31	41.59%	39.81%	-1.78%	14.1%
Growth	234	240	6	37	43	44.45%	46.39%	1.94%	14.4%
Small	1140	1050	-90	157	67	13.97%	13.80%	-0.17%	11.9%
Value	869	781	-88	162	74	8.75%	8.61%	-0.14%	17.1%
Growth	569	520	-49	147	98	5.21%	5.19%	-0.02%	28.7%
Prime	997	1000	3	28	31	97.78%	98.03%	0.25%	1.6%
Value	737	712	-25	78	53	48.99%	47.21%	-1.79%	13.0%
Growth	562	568	6	85	91	48.79%	50.83%	2.04%	13.6%

(注) 構成銘柄は定期入替日時点。時価構成比率の計算は2015年10月15日の株価による。
 回転率は「Σ | 入替前時価比率 - 入替後時価比率 | / 2」より算出。

図表3 Russell/Nomuraスタイル指数の業種別時価総額ウエイトの増減

	Total Value	Total Growth	Large Value	Large Growth	Small Value	Small Growth
水産・農林業	0.0%	0.0%	-	-	0.0%	0.0%
鉱業	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%
建設業	-0.8%	0.7%	-1.1%	0.8%	0.8%	0.5%
食料品	-0.6%	0.3%	-0.6%	0.3%	-0.6%	0.3%
繊維製品	-0.3%	0.3%	-0.4%	0.4%	0.0%	-0.1%
パルプ・紙	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%
化学	0.7%	-0.9%	0.9%	-0.7%	-0.1%	-2.5%
医薬品	-0.4%	0.2%	-0.6%	0.3%	0.9%	-1.6%
石油・石炭製品	0.0%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.4%	0.0%
ゴム製品	0.0%	-0.1%	0.1%	-0.1%	-0.2%	0.3%
ガラス・土石製品	0.1%	-0.1%	0.1%	-0.1%	0.2%	-0.3%
鉄鋼	0.2%	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.0%	0.0%
非鉄金属	0.1%	0.0%	-0.1%	0.0%	0.9%	0.1%
金属製品	-0.1%	0.2%	-0.1%	0.3%	-0.1%	-0.7%
機械	1.7%	-1.8%	1.8%	-1.8%	1.3%	-1.4%
電気機器	2.2%	-2.2%	2.3%	-2.6%	1.7%	0.6%
輸送用機器	1.6%	-1.7%	2.0%	-2.0%	0.1%	0.4%
精密機器	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.2%
その他製品	-0.7%	0.6%	-0.8%	0.7%	-0.1%	0.1%
電気・ガス業	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%
陸運業	-1.7%	1.5%	-2.0%	1.6%	-0.4%	0.8%
海運業	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	-
空運業	-0.4%	0.3%	-0.4%	0.4%	-	-
倉庫・運輸関連業	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-0.1%
情報・通信業	-1.0%	1.0%	-0.9%	1.1%	-1.5%	0.2%
卸売業	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.3%	0.5%
小売業	-0.9%	0.9%	-0.6%	0.5%	-2.7%	4.2%
銀行業	0.3%	0.1%	0.5%	0.2%	-0.2%	-
証券、商品先物取引業	0.3%	-0.2%	0.3%	-0.2%	0.1%	-0.2%
保険業	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	-	0.0%
その他金融業	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	-0.3%	-1.1%
不動産業	0.2%	-0.3%	0.2%	-0.4%	0.3%	0.6%
サービス業	-0.6%	0.8%	-0.7%	1.0%	-0.1%	-0.4%

(注)2015年10月15日の株価による。水色帯は Valueインデックスのウエイトが1%以上増加した業種、赤色帯は Growthインデックスのウエイトが1%以上増加した業種を表す。

Russell/Nomura Primeインデックスへの初めての組入れは24件に

Russell/Nomura Primeインデックスは機関投資家のパッシブ運用のベンチマークとして開発されたインデックスであり、Russell/Nomura日本株インデックスの時価総額上位1,000銘柄で構成されるサブインデックスです。今回の定期入替で初めて採用された銘柄は24銘柄となり、同インデックスの時価総額は354.2兆円から357.4兆円へとわずかに増加しています(2015年10月15日時点。時価総額は浮動株調整済み)。同インデックスの時価総額回転率は1.6%と、昨年に続いて低い水準となりました。

新たに採用された24銘柄のセクターに関しては「小売業」が7銘柄と最も多く、続いて「サービス業」が5銘柄、「不動産業」が4銘柄となりました。

Russell/Nomura 日本株インデックスについて

1995年、野村証券とRussell Indexes(現FTSE Russell indexes)は、様々な投資方針に基づいた運用を測定するツールとして「Russell/Nomura日本株インデックス」を共同開発しました。当インデックスは、日本市場の上場株式を対象にした浮動株時価総額加重方式の株価指数です。浮動株調整時価総額上位98%の銘柄で構成されるRussell/Nomura Total Marketインデックスをはじめ、投資スタイル別のサブインデックスが公表されています。

当インデックスでは、株式市場の変化を反映させるため、年一回、12月第一営業日に構成銘柄の定期銘柄入替を実施しています。構成銘柄は、10月15日時点(休日の場合は直近営業日)の浮動株調整時価総額によって決定されます。

定期銘柄入替後に合併・買収やその他の事由によって銘柄が除外される場合、次回の定期銘柄入替まで補充されることはなく、構成銘柄数は減少します。ただし、新規上場したLarge Cap相当の銘柄は臨時入替で組入れられます。

<お問い合わせ先> 野村証券株式会社 金融工学研究センター
インデックス業務室
TEL: 03-6703-3986
E-mail:idx_mgr@frc.nomura.co.jp